

学校づくり 4つの基本理念

公立学校を
あきらめない！

笑顔と
ありがとうを
標準装備して

子どもを
スーパーヒーロー
にする

違和感キャッチ！
スピード対応！

学校教育目標

キラリんく キラリかがやこう りんくつながろう

#やる気 #本気 #みどりのあい #高めのあい

～1人1人が「居場所」と「出番」を実感できる学校をめざし～

子どもたちにはぐくみたいキラリんくをすた

着眼点	低学年	中学年	高学年
ともに よく 生きる	<ul style="list-style-type: none"> ◆いの中の大切さに気付き、安全なくらしをすることができる。 ◆友だちと仲良く、気持ちよく生活することができる。 ◆係や当番活動にすすんで取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆いの中をかけがえのないものとして大切に、すすんで健康、安全なくらしに取り組むことができる。 ◆友だちと協力し、課題は話し合いを通して解決することができる。 ◆係や当番活動が集団生活にとって大切であることに気付き、すすんで取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自他のいの中の尊さを理解し、互いの健康、安全を脅かすものをなくしていくために協力することができる。 ◆友だちと協力しながら、集団にとってよいと思っことは自ら進んで行動し、課題は話し合いを通して解決することができる。 ◆係や当番、委員会や児童会等の活動に積極的に取り組み、役割を果たすこと、貢献することの喜びを感じることができる。
人権感覚を みがく	◆だれもがしあわせに生きたいと願っていることに気付き、いじめや差別をしないように気を付けることができる。	◆だれもがしあわせに生きたいと願っていることを理解し、いじめや差別を許さず、協力して解決することができる。	◆基本的な人権について正しく理解し、いじめや差別、あらゆる人権侵害を許さず、協力して解決することができる。
コミュニケー ション能力を 養う	◆きもちのよいあいさつができ、人の話をしっかりと聞き、相手の言うことを理解しようすることができる。	◆きもちのよいあいさつ、反応ができ、相手の考えをしっかりと聞きとらえ、自分の考えも伝え、折り合いを付けることができる。	◆きもちのよいあいさつ、反応ができ、互いに尊重し合いながら聞き取り伝えたり、よりよく折り合いを付けることができる。

人権教育の4つのカテゴリで整理する キラリんくの取組

AS 人権としての教育	THROUGH 人権を通しての教育	ABOUT 人権についての教育	FOR 人権のための教育
<p>子どもを主語にした授業 学びたい思い・願いの 実現に注力する</p>	<p>心理的安全性を確保し、 自分らしく挑戦できる 環境をつくる</p>	<p>よりよい自分・集団・ 社会の在り方を幅広く 学習する</p>	<p>豊かなつながり時間を みんなで生み出し成功に 導く</p>
<p>就学の機会均等の保障はもとより、子どもたちの「生きる力」を培う豊かな教育を受ける機会が保障されているか</p>	<p>人権の大切さを日常的に感じながら学習することができる環境、心理的安全性が確保された環境を、学校や学級において作り出すことができるか</p>	<p>人権についての理解を深める学習を通して、人権を守る意欲や態度をはぐくむとともに、人権にかかわる問題解決のために行動できる力を培うことができるか</p>	<p>さまざまな立場の人との交流や、協働した活動を通して、自己有用感、自己効力感を高めながら他者を尊重する豊かな人間関係づくりをすすめることができるか</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの「学びたい」「分かりたい」「できるようになりたい」を呼び起こし、実現していく。 ・学習意欲を妨げるさまざまな要因を、子どもの立場で考え、一緒に取り除いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の存在が認められ、安心できる教室で学べるようにする。 ・ルールやマナーが尊重される風土の中で学べるようにする。 ・整理整頓を日常化し、「割れ窓理論」を放置しないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も人もかけがえのない大切な存在であることが実感できる学習を行う。 ・自分や人の尊厳、基本的人権が脅かされる場面について、解決のしかたが考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分にもできることがある」「自分もだれかの役に立てる」ということを実感できる取組を行う。 ・知恵を出し合い、協力することで、楽しい時間や達成感・充実感が得られることに気付けるようになる。
<ul style="list-style-type: none"> ◆めざす資質・能力 学力の原点となる学習力（自己調整する力・対話し共感する力） ◆教師がコントロールする授業から、子どもが主体的に学ぶ授業へ 単元内自由進度学習 ◆決める→やりぬく「チャレンジX（テン）」 ◆自立を促す特別支援教育 ◆配慮を要する児童へのアセスメント機能の向上（組織的対応・スピード感・連携）、支援の強化、場の提供 ◆不登校対策、支援の強化 早期、組織的対応 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒指導実践上の4つの視点の浸透（発達支持的生徒指導） ◆大枝中ブロック「学びのガイドライン」学習規律の徹底（特に「聞く」） ◆学校いじめ防止等基本方針の理解、いじめ対策の強化、早期発見、組織的対応、教育相談週間、ていねいな聞き取り ◆全教職員が児童理解に努める組織づくり（定例2部会） ◆教室、校内のUD化、整理整頓・清掃の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「なかよしトーク」（人権について考える対話の時間） ◆人権についての学習「まらりんくタイム」のかりキュラムマネジメント（旧態依然としたテーマ設定・授業内容からの脱却） *薬物乱用防止教育 *情報モラル教育 *生命（いのち）の安全教育 *いじめ根絶 *金融経済（消費者）教育、法教育 *フロンティア平等 *多文化共生 *総合育成支援 ◆歌声を合わせる・聞き合う 全校合唱や学年合唱→キラリんく音楽祭 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学級活動や児童会活動での自治的な活動、ワクワクする魅力あるつながり時間の創出 ◆児童のモチベーションを維持する効果的な全校行事の配置 ◆キャリア・パスポートの有効活用（自己有用感・自己効力感） ◆ペア学年、異学年交流、バーティカルサポート ◆校外学習・体験活動・外部協働・地域協働の充実（「ほんまもん」にてあ） ◆フレッシュアクションでみんなが気持ちよく学活1（学級会 話し合いで合意形成）

「キラリ」
自己調整を重ねながら
自己実現をめざす

「りんく」
対話 共感を重ねながら
社会参画 貢献をめざす

豊かな人権感覚
人権に関する
知識技能

人権尊重の風土が根付き、心理的安全性が確保された中で、誰もが失敗を恐れずにやる気を出し、本気になることができ、互いを認め合いながら、自分と集団を高め合うことができる、ありがたい、なりたい、桂坂小学校のすた

めざす子ども像

確かな学力
いきいきと
学ぶ子

自分も人も
大切に
する子

すこやかな体
しなやかで
たくましい
子

いじめを
ゆるさない学校

やる気の
わいてくる学校

めざす学校像

アップデート意識

受容力

もち味発揮

めざす教職員像

コンプライアンス・教育公務員資質

関係法令等
日本国憲法 教育基本法・学校教育法 学習指導要領

京都市「学校教育の重点」
*1人1人の子どもを徹底的に大切に京都市の教育理念
*児童のウェルビーイングの実現

京都はぐくみ憲章

新京都戦略

児童の様子

学力・学習状況は？ 学習意欲は？
主体性は？ 規範意識・社会性は？ 人間関係形成能力は？

キラリんく(人権教育)目標

自分の「居場所」と「出番」を実感し、
自他の人権を尊重しながら行動できる児童を育てる。

学力の原点となる
学習力

自己調整する力
対話し共感する力

じぶんでやるきをだす力
じぶんをのぼせるやりかたを
きめる力
ひととおりのあいをつくれる力

文部科学省
「教育課程柔軟化サキドリ」研究校事業」
「調整授業時数制度」

「余白」創出
「深い学び」の実現
多様性の包摂
実現可能性の確保

「裁量」創出

校時表の変更 Kラボ for Teachers
チャレンジX

本校ならではの特色ある教育課程と
子どもに向き合える時間の確保、
教員の働き方改革を
一体的に実現する挑戦

学校生活を笑顔に！

キラリんくをサポート

- *ハルスプロモーションの考えを重視した保健教育、健康教育の推進
- *避難訓練やHANAモデル訓練を生かした「備える」学校づくり
- *ムダを省き、効果的長投推進する**強い財務**
- ***校務のDX化** 積極的推進

学校ホームページ

幼保小連携
架け橋プログラム

愛鳥モデル校

家庭や地域との連携(発信)
あらゆる機会をとりえて人権教育の重要性や本校における人権教育の推進について理解と協力を得る。